

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【公開番号】特開2012-243032(P2012-243032A)

【公開日】平成24年12月10日(2012.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-052

【出願番号】特願2011-111644(P2011-111644)

【国際特許分類】

**G 06 F 17/30 (2006.01)**

【F I】

G 06 F 17/30 220Z

G 06 F 17/30 170A

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月27日(2014.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

測定期間  $i$  におけるサンプリング値  $x_i$  からなる離散系の時系列データを取得し、所定の測定期間  $t$  以前の所定の期間に対応する  $N$  個のサンプリング値  $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$  の移動平均  $m_t$  に基づく移動偏差  $v_t$  を算出し、測定期間  $t$  に対応する移動偏差  $v_t$  と測定期間  $t-1$  に対応する移動偏差  $v_{t-1}$  とに基づいて、測定期間  $t$  における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値  $s_t$  を算出する評価値算出部を備える情報処理装置。

【請求項2】

前記評価値算出部は、前記評価値  $s_t = \text{移動偏差 } v_t / \text{移動偏差 } v_{t-1}$  を算出する請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記評価値算出部は、連続的な時系列データを測定期間毎に集計して前記離散系の時系列データに変換する

請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記評価値算出部は、前記測定期間を時間的に重複して設け、連続的な時系列データを前記測定期間毎に集計して前記離散系の時系列データに変換する

請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

情報処理装置の情報処理方法において、

情報処理装置による、

測定期間  $i$  におけるサンプリング値  $x_i$  からなる離散系の時系列データを取得し、所定の測定期間  $t$  以前の所定の期間に対応する  $N$  個のサンプリング値  $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$  の移動平均  $m_t$  に基づく移動偏差  $v_t$  を算出し、

測定期間  $t$  に対応する移動偏差  $v_t$  と測定期間  $t-1$  に対応する移動偏差  $v_{t-1}$  とに基づいて、測定期間  $t$  における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値  $s_t$  を算出する

ステップを含む情報処理方法。

**【請求項 6】**

コンピュータを、

測定期間  $i$  におけるサンプリング値  $x_i$  からなる離散系の時系列データを取得し、所定の測定期間  $t$  以前の所定の期間に対応する  $N$  個のサンプリング値  $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$  の移動平均  $m_t$  に基づく移動偏差  $v_t$  を算出し、測定期間  $t$  に対応する移動偏差  $v_t$  と測定期間  $t-1$  に対応する移動偏差  $v_{t-1}$  に基づいて、測定期間  $t$  における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値  $s_t$  を算出する評価値算出部

として機能させるプログラム。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0007】**

本開示の一側面である情報処理装置は、測定期間  $i$  におけるサンプリング値  $x_i$  からなる離散系の時系列データを取得し、所定の測定期間  $t$  以前の所定の期間に対応する  $N$  個のサンプリング値  $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$  の移動平均  $m_t$  に基づく移動偏差  $v_t$  を算出し、測定期間  $t$  に対応する移動偏差  $v_t$  と測定期間  $t-1$  に対応する移動偏差  $v_{t-1}$  に基づいて、測定期間  $t$  における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値  $s_t$  を算出する評価値算出部を備える。

**【手続補正 3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0008】**

前記評価値算出部は、前記評価値  $s_t = \text{移動偏差 } v_t / \text{移動偏差 } v_{t-1}$  を算出することができる。

**【手続補正 4】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0011】**

本開示の一側面である情報処理方法は、情報処理装置による、測定期間  $i$  におけるサンプリング値  $x_i$  からなる離散系の時系列データを取得し、所定の測定期間  $t$  以前の所定の期間に対応する  $N$  個のサンプリング値  $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$  の移動平均  $m_t$  に基づく移動偏差  $v_t$  を算出し、測定期間  $t$  に対応する移動偏差  $v_t$  と測定期間  $t-1$  に対応する移動偏差  $v_{t-1}$  に基づいて、測定期間  $t$  における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値  $s_t$  を算出するステップを含む。

**【手続補正 5】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【0012】**

本開示の一側面であるプログラムは、コンピュータを、測定期間  $i$  におけるサンプリング値  $x_i$  からなる離散系の時系列データを取得し、所定の測定期間  $t$  以前の所定の期間に対応する  $N$  個のサンプリング値  $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$  の移動平均  $m_t$  に基づく移動偏差  $v_t$  を算出し、測定期間  $t$  に対応する移動偏差  $v_t$  と測定期間  $t-1$  に対応する移動偏差  $v_{t-1}$  を算出する。

差  $v_{t-1}$  に基づいて、測定期間  $t$  における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値  $s_t$  を算出する評価値算出部として機能させる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本開示の一側面においては、測定期間  $i$  におけるサンプリング値  $x_i$  からなる離散系の時系列データが取得され、所定の測定期間  $t$  以前の所定の期間に対応する  $N$  個のサンプリング値  $x_t, x_{t-1}, \dots, x_{t-N+1}$  の移動平均  $m_t$  に基づく移動偏差  $v_t$  が算出され、測定期間  $t$  に対応する移動偏差  $v_t$  と測定期間  $t-1$  に対応する移動偏差  $v_{t-1}$  に基づいて、測定期間  $t$  における前記離散系の時系列データの急激な変化を示す評価値  $s_t$  が算出される。